

OWNER'S MANUAL / MODE D'EMPLOI  
BEDIENUNGSANLEITUNG / 取扱説明書

**YAMAHA**  
YAMAHA CORPORATION  
P.O. Box 1, Hamamatsu, Japan  
Printed in Hong Kong

このたびはヤマハ・ギター/ベースチューナー YT-1100をお買い求めいただき、ありがとうございます。  
お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

## 安全へのこころがけ

### 火災・感電・人身傷害の危険を防止するには

～以下の指示を必ず守ってください～

絵表示について

この「安全へのこころがけ」は製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を使って説明しています。  
絵表示の意味をよく理解してから、本文をお読みください。

|  |                                   |                       |
|--|-----------------------------------|-----------------------|
|  | 注意 (危険・警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。 |                       |
|  | 禁止の行為を告げるものです。                    | 例:  → 分解禁止            |
|  | 行為を強制したり指示する内容を告げるものです。           | 例:  → 電源プラグをコンセントから抜く |

## ご使用になる前に

### ◆使用する場所

次のような場所でご使用になりますと、故障の原因となりますのでご注意ください。  
・直射日光の当たる場所  
・温度や湿度が非常に高い場所や低い場所  
・砂やホコリの多い場所

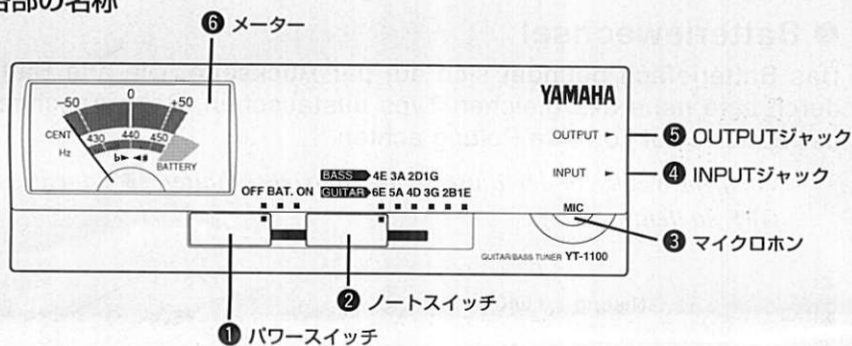
### ◆電源について

・YT-1100は、6F22(006P)乾電池で作動します。  
・ご使用にならない時は、必ずパワースイッチをOFFにしておいてください。また、電池の液漏れを防ぐため、長時間ご使用にならない時は、電池を取り出しておいてください。

### ◆取り扱いはやさしく

スイッチなどに無理に力を加えたり、本体を落としますと故障の原因となりますのでご注意ください。

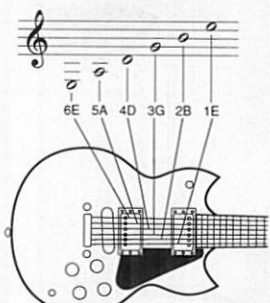
## 各部の名称



## 仕様

|       |  |
|-------|--|
| 表示    | : メーター                                   |
| 音名    | : 6E(4E), 5A(3A), 4D(2D), 3G(1G), 2B, 1E |
| 精度    | : ±1セント                                  |
| 標準ピッチ | : A4=440Hz                               |
| 付加機能  | : バッテリーチェック機能                            |
| 端子    | : INPUTジャック, OUTPUTジャック                  |
| 電源    | : 6F22(006P)9V乾電池                        |
| 電池寿命  | : 連続約80時間                                |
| 外形寸法  | : 146(W)×48.5(H)×32.5(D)mm               |
| 重量    | : 155g(乾電池含む)                            |
| 付属品   | : 6F22 9V乾電池×1                           |

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。



|  |   |
|--|---|
|  | <b>警告</b> この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う危険の恐れのある内容を示しています。   |
|  | この機器を使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。  |
|  | この機器を分解したり、改造したりしないでください。火災、感電の原因となります。   |
|  | 修理/部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは、絶対にしないでください。必ずサービスセンターに相談してください。   |
|  | 次のような場所での使用や保存はしないでください。火災、感電の原因となります。<br>● 温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など)<br>● 水気の近く(風呂場、洗面台、濡れた床など)や湿度の高い場所<br>● ホコリの多い場所<br>● 振動の多い場所<br>※ 特に自動車内は直射日光などにより非常に高温となります。この機器を車内に放置しないでください。 |
|  | この機器に、異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)や液体(水やジュースなど)を絶対に入れないでください。火災、感電の原因となります。  |
|  | 次のような場合は、直ちに電源を切って、サービスセンターに修理を依頼してください。<br>● 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたとき<br>● 機器が(雨などで)濡れたとき<br>● 機器に異常や故障が生じたとき  |

|  |  |
|--|--|
|  | <b>注意</b> この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負ったり、財産が損害を受ける危険の恐れのある内容を示しています。            |
|  | この機器は、正常な通気が妨げられないように設定して、使用してください。  |
|  | 使用後の乾電池は火中に捨てないでください。一般のゴミとは分けて、決められた場所に捨てましょう。                                |
|  | 乾電池は表示された極性(+, -)を間違えないようにしてください。間違えますと乾電池の破れつや液もれによって、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 |
|  | 本体を、故意に投げたり落としたりしないでください。本体の故障だけでなく、思わぬけがの原因となることがあります。                        |
|  | 乾電池は幼児の手の届かない場所に保管してください。  |

## チューニングの方法

### ●アコースティックギターのチューニング

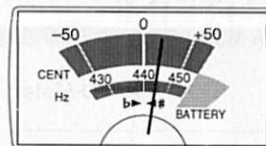
1. パワースイッチ①を"ON"にします。
2. ノートスイッチ②により、チューニングしたい弦(音名)を選びます。
3. 内蔵マイクロホン③にギターのサウンドホールをできるだけ近づけ、チューニングしたい弦を開放で弾きます。(2本以上の弦を同時に弾かないでください。)
4. メーター⑥の針が中央の440Hz(0)になるように、ギターのペグ(糸巻)を調節します。針が中央より右へ傾いた時は音が高くなりすぎています。一旦弦をゆるめてからチューニングしなおしてください。
5. 他の弦も同様にしてチューニングします。

### ●エレキギター/ベースのチューニング

1. 側面のINPUTジャック④に、ギター/ベースからのコードを接続します。(この時OUTPUTジャック⑤とアンプを接続しておけば、演奏中でもチューニングができます。)
2. チューニングの手順は、アコースティックギターの場合の(1～5)と同じです。なお、INPUTジャック④にプラグが接続されている時には、内蔵マイクロホン③は作動しません。

## ピッチの変更

標準ピッチはA4=440Hzですが、たとえばA4=444Hzに合わせたい場合は右図のように、メーター⑥の針が444Hzを指すようにチューニングしてください。



## 電池交換

### ●バッテリーチェック

パワースイッチ①を"BAT."位置にした時、メーターの針がBATTERYの色帯ゾーンから外れている場合(図1)は、電池が消耗していますので、ただちに新しい電池と交換してください。

### ●電池交換の方法

図2のようにして電池を交換します。電池の+, -を間違えないようにしてください。  
※ 電池の交換は、必ずパワースイッチ①を"OFF"にしてから行ってください。



図1

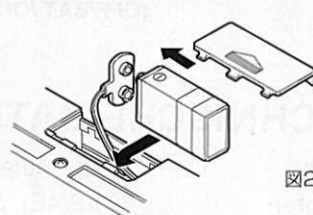


図2

## サービスについて

### 1. 保証期間

本機の保証期間は、ご購入(保証書による)より満1ヶ月(現金・クレジット・月賦等による区別はございません。また保証は日本国内でのみ有効)と致します。

### 2. 保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買い上げ店にご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂く場合もあります。また、お買い上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買い上げ店あるいは右記のヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引き続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

### 3. アフターサービス

満1ヶ月の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。そのほかご不明の点などございましたら、お買い上げ店あるいは右記のヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点までお問い合わせください。

## ヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点

|                     |                                      |                    |
|---------------------|--------------------------------------|--------------------|
| (修理受付および修理品お持ち込み窓口) |                                      |                    |
| 北海道サービスセンター         | 〒064 札幌市中央区南十条西1丁目1-50 ヤマハセンター内      | TEL (011) 513-5036 |
| 仙台サービスセンター          | 〒983 仙台市若林区節町5-7 仙台高共済配送センター3F       | TEL (022) 236-0249 |
| 首都圏サービスセンター         | 〒211 川崎市中原区木月1184                    | TEL (044) 434-3100 |
| 東京サービスステーション        | 〒108 東京都港区高輪2-17-11                  | TEL (03) 5488-6625 |
| 浜松サービスセンター          | 〒435 浜松市上区町911 ヤマハ(株)宮竹工場内           | TEL (053) 465-6711 |
| 名古屋サービスセンター         | 〒454 名古屋市中区区立2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F | TEL (052) 652-2230 |
| 大阪サービスセンター          | 〒565 吹田市南野原2-1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内     | TEL (06) 877-5262  |
| 四国サービスステーション        | 〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ(株)高松店内            | TEL (0878) 22-3045 |
| 広島サービスセンター          | 〒731-01 広島市安佐南区西原6-14-14             | TEL (082) 874-3787 |
| 九州サービスセンター          | 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4                | TEL (092) 472-2134 |
| [本社]                |                                      |                    |
| カスタマーサービス部          | 〒435 浜松市上区町911 ヤマハ(株)宮竹工場内           | TEL (053) 465-1158 |

## ヤマハ株式会社国内楽器営業本部

|            |                                   |                    |
|------------|-----------------------------------|--------------------|
| 弦打楽器営業部    | 〒430 浜松市中区中町10番1号                 | TEL (053) 460-2433 |
| 東京支店第2営業課  | 〒108 東京都港区高輪2-17-11               | TEL (03) 5488-5476 |
| 関東支店第2営業課  | 〒108 東京都港区高輪2-17-11               | TEL (03) 5488-1688 |
| 大阪支店第2営業課  | 〒542 大阪府中央区南船場3-12-9 (心斎橋プラザビル東館) | TEL (06) 252-5231  |
| 名古屋支店第2営業課 | 〒460 名古屋市中区路1-18-28               | TEL (052) 201-5199 |
| 九州支店第2営業課  | 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4             | TEL (092) 472-2130 |
| 北海道支店第2営業課 | 〒064 札幌市中央区南十条西1丁目1-50 (ヤマハセンター)  | TEL (011) 512-6113 |
| 仙台支店第2営業課  | 〒980 仙台市青葉区大町2-2-10               | TEL (022) 222-6147 |
| 広島支店第2営業課  | 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 (ヤマハビル)       | TEL (082) 244-3749 |

※住所及び電話番号は変更になる場合があります。

## 持込修理

## 保証書

この度はヤマハ・ギター/ベースチューナーをお買い上げ戴きましてありがとうございました。本書は、本書記載内容で修理を行なう事をお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。(詳細は裏面をご覧ください)

|      |                  |         |         |
|------|------------------|---------|---------|
| 品名   | ギター/ベースチューナー     | 品番      | YT-1100 |
| 保証期間 | 本体: お買い上げの日から1年間 | ※お買い上げ日 | 年 月 日   |
| お客様  | ご住所 〒            | ※販売店    | 店名      |
|      | お名前              |         | 住所      |
|      | 電話 ( )           |         | 電話 ( )  |

ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入してお渡しくください。

## 修理(サービス)メモ

| 年月日 | 内容 | 担当者 | 印 |
|-----|----|-----|---|
|     |    |     |   |
|     |    |     |   |

ヤマハ株式会社 弦打楽器営業部 営業課  
〒430 静岡県浜松市中区中町10番1号 053-460-2431

## ヤマハ株式会社

弦打楽器営業部 営業課  
〒430 静岡県浜松市中区中町10番1号  
053-460-2433



# YAMAHA

## GUITAR/BASS TUNER

# YT-1100

OWNER'S MANUAL

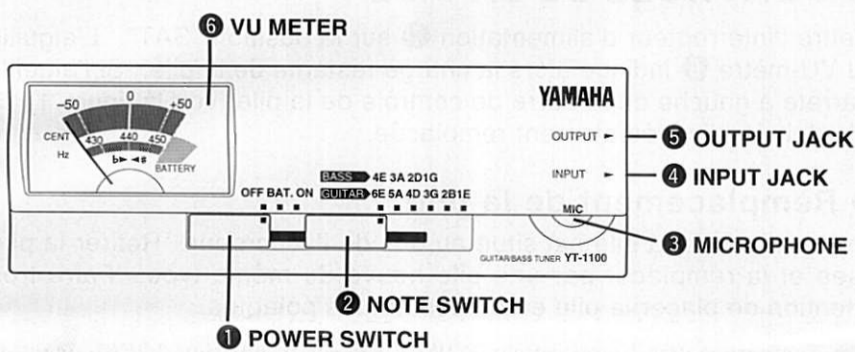
Thank you for purchasing the YAMAHA YT-1100 Guitar/Bass Tuner.

Please read this manual thoroughly and keep it in a safe place for future reference.

### ■ PRECAUTIONS

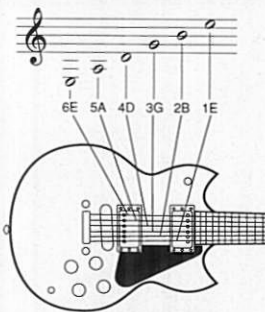
- ◆ To prevent damage, do not use the tuner in the following locations:
  - places where the unit will be in direct sunlight;
  - places subject to temperature and humidity extremes;
  - places that are sandy or dusty.
- ◆ To power the tuner, use only a 6F22 or 006P 9V dry cell battery. Other power sources may damage the device.
- ◆ For maximum battery life, always be sure the tuner is turned OFF when not in use.
- ◆ To prevent possible damage due to leakage of battery fluid, remove the battery from the tuner if it is not to be used for an extended period of time.
- ◆ Do not subject the tuner to strong physical shock or vibration. Do not use excessive force on any of the parts.
- ◆ Never use solvents such as benzine or thinner to clean the tuner. Wipe clean with a soft, dry cloth.

### ■ COMPONENTS



### ■ SPECIFICATIONS

|                    |   |
|--------------------|---|
| Indicators         | : VU Meter  |
| Tuning Notes       | : 6E(4E), 5A(3A), 4D(2D), 3G(1G), 2B, 1E            |
| VU Meter Precision | : ± 1 cent  |
| Standard Pitch     | : A4 = 440 Hz                                       |
| Added Function     | : Battery Check                                     |
| Jacks              | : INPUT, OUTPUT                                     |
| Power Source       | : 9V dry cell battery (006P or 6F22)                |
| Battery Life       | : Approx. 80 hours                                  |
| Dimensions (WxHxD) | : 146 x 48.5 x 32.5 mm (5-3/4" x 1-15/16" x 1-1/4") |
| Weight             | : 155 g (5.5 oz) with battery                       |
| Accessory          | : 9V dry cell battery (6F22) x 1                    |



\* Specifications and external appearance are subject to change without notice.

### ■ TUNING PROCEDURES

#### ● Acoustic Guitar Tuning

1. Move the power switch ① to the "ON" position.
2. Move the note switch ② to the desired tuning note.
3. Place the guitar sound hole near the built-in microphone ③.
  - \* The built-in microphone ③ cannot be used when there is a plug in the input jack ④.
4. Pluck the string to be tuned. (Do not pluck more than one string at a time.)
5. Adjust the tuning peg until the meter needle ⑥ rests in the middle of the meter at 440 Hz (0 Cent). If the note is flat, the needle will lean to the left; if the note is raised, the needle will lean to the right.
6. Repeat steps 4 and 5 to tune the other strings.

#### ● Electric Guitar/Bass Tuning

1. Connect the guitar cord to the INPUT jack ④. (At this time, the OUTPUT jack ⑤ can be connected to an amplifier in preparation for tuning during a performance.)
2. Follow the same acoustic guitar procedures as those outlined above.

### ■ PITCH SELECTION

The A4 standard pitch can be changed from 440 Hz to some other pitch. For example, if an A4 = 444 Hz standard pitch is desired, tune the strings so that the meter needle ⑥ rests at 444 Hz instead of 440 Hz when tuning.



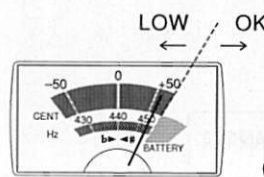
### ■ BATTERY CHECK

Move the power switch ① to the "BAT." position. The meter needle ⑥ now indicates the charge remaining in the battery. If the needle rests to the left of the battery check bar (refer to Figure 1), the battery needs to be replaced immediately.

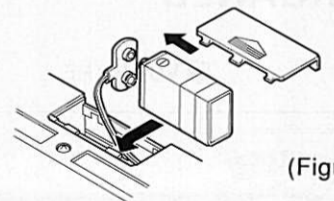
#### ● Battery Change

The battery compartment is in the rear of the tuner. Remove the old battery and replace it with a new one of the same type. Be careful to connect the battery in the correct polarity.

\* Always turn the power switch ① to "OFF" before changing the battery.

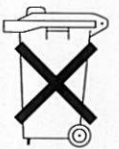


(Figure 1)



(Figure 2)

Bij dit produkt zijn batterijen geleverd. Wanneer deze leeg zijn, moet u ze niet weggooien maar inleveren als KCA.



THIS DIGITAL APPARATUS DOES NOT EXCEED THE "CLASS B" LIMITS FOR RADIO NOISE EMISSIONS FROM DIGITAL APPARATUS SET OUT IN THE RADIO INTERFERENCE REGULATION OF THE CANADIAN DEPARTMENT OF COMMUNICATIONS.

#### FCC INFORMATION (U.S.A.)

1. **IMPORTANT NOTICE: DO NOT MODIFY THIS UNIT!**  
This product, when installed as indicated in the instructions contained in this manual, meets FCC requirements. Modifications not expressly approved by Yamaha may void your authority, granted by the FCC, to use the product.
  2. **IMPORTANT:** When connecting this product to accessories and/or another product use only high quality shielded cables. Cable/s supplied with this product MUST be used. Follow all installation instructions. Failure to follow instructions could void your FCC authorization to use this product in the USA.
  3. **NOTE:** This product has been tested and found to comply with the requirements listed in FCC Regulations, Part 15 for Class "B" digital devices. Compliance with these requirements provides a reasonable level of assurance that your use of this product in a residential environment will not result in harmful interference with other electronic devices. This equipment generates/uses radio frequencies and, if not installed and used according to the instructions found in the users manual, may cause interference harmful to the operation of other electronic devices. Compliance with FCC regulations does not guarantee that interference will not occur in all installations. If this product is found to be the source of interference, which can be determined by turning the unit "OFF" and "ON", please try to eliminate the problem by using one of the following measures:
    - Relocate either this product or the device that is being affected by the interference.
    - Utilize power outlets that are on different branch (circuit breaker or fuse) circuits or install AC line filter/s.
    - In the case of radio or TV interference, relocate/reorient the antenna. If the antenna lead-in is 300 ohm ribbon lead, change the lead-in to co-axial type cable.If these corrective measures do not produce satisfactory results, please contact the local retailer authorized to distribute this type of product. If you can not locate the appropriate, please contact Yamaha Corporation of America, Electronic Service Division, 6600 Orangethorpe Ave, Buena Park, CA 90620
- The above statements apply ONLY to those products distributed by Yamaha Corporations of America or its subsidiaries.



# YAMAHA

## ACCORDEUR DE GUITARE/BASSE

# YT-1100

### MODE D'EMPLOI

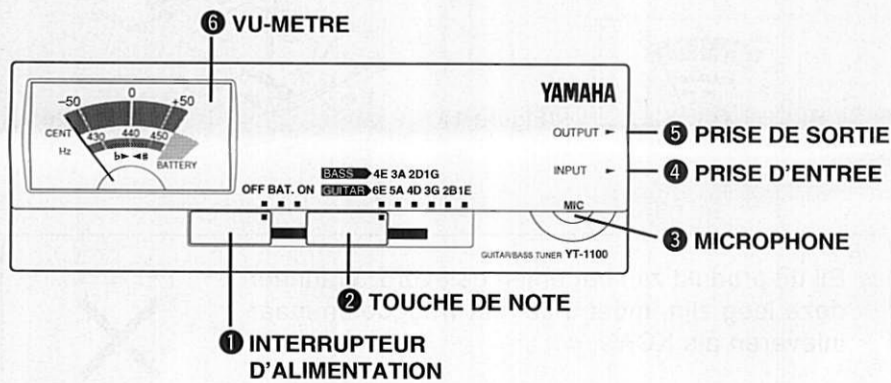
Nous vous remercions d'avoir porté votre choix sur l'accordeur de guitare/basse YAMAHA YT-1100. Nous vous prions de lire attentivement ce mode d'emploi et de le conserver en lieu sûr pour toute référence future.

## ■ PRECAUTIONS

- ◆ Afin de ne pas endommager l'accordeur ne pas l'utiliser dans des endroits soumis aux conditions suivantes:
  - plein soleil;
  - humidité ou températures excessives;
  - sable ou poussière.
- ◆ Pour alimenter l'accordeur, utiliser une pile sèche 6F22 ou 006P de 9 volts.
 

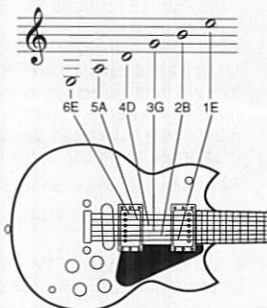
Tout autre source d'alimentation pourrait endommager l'appareil.
- ◆ Pour prolonger au maximum la durée de vie de la pile, toujours mettre l'accordeur hors tension lorsqu'il n'est pas utilisé.
- ◆ Pour prévenir tout endommagement éventuel de l'accordeur dû à une fuite du liquide de la pile, enlever la pile lorsque l'accordeur ne doit pas être utilisé pendant une période prolongée.
- ◆ Ne pas soumettre l'accordeur à des chocs ou à des vibrations importantes. Ne jamais le manipuler avec une force excessive.
- ◆ Ne jamais utiliser de solvants, tels que de la benzine ou un diluant, pour nettoyer l'accordeur. L'essuyer avec un chiffon propre et sec.

## ■ ORGANES



## ■ FICHE TECHNIQUE

|                         |  |
|-------------------------|--|
| Indicateurs             | : VU-mètre                               |
| Notes d'accord          | : 6E(4E), 5A(3A), 4D(2D), 3G(1G), 2B, 1E |
| Précision du VU-mètre   | : ± 1 centième                           |
| Hauteur standard        | : A4 = 440 Hz                            |
| Fonction supplémentaire | : Contrôle de la pile                    |
| Prises                  | : INPUT, OUTPUT                          |
| Alimentation            | : Pile sèche de 9V (006P ou 6F22)        |
| Durée de vie de la pile | : Env. 80 heures                         |
| Dimensions (L x H x P)  | : 146 x 48.5 x 32.5 mm                   |
| Poids                   | : 155 g avec pile                        |
| Accessoires             | : Pile sèche de 9 V (6F22) x 1           |



## ■ MARCHE A SUIVRE

### ● Accord d'une guitare acoustique

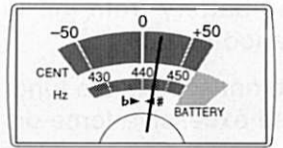
1. Mettre l'interrupteur d'alimentation ① sur la position "ON".
2. Mettre la touche de note ② sur la note d'accord souhaitée.
3. Approcher l'ouïe de la guitare du micro intégré ③.
  - \* Le micro intégré ③ ne peut pas être utilisé lorsqu'un instrument est branché à la prise d'entrée ④.
4. Pincer la corde à accorder (ne pas pincer plus d'une corde à la fois).
5. Régler les chevilles d'accord jusqu'à ce que l'aiguille du VU-mètre ⑥ s'arrête au milieu de la plage d'indication à 440 Hz (0 cent). Si la note est trop basse l'aiguille se déplace vers la gauche, alors que si elle est trop haute elle se déplace vers la droite.
6. Répéter les étapes 4 et 5 pour accorder les autres cordes.

### ● Accord d'une guitare/basse électrique

1. Connecter le câble de la guitare à la prise INPUT ④. (La prise OUTPUT ⑤ peut alors être connectée à un amplificateur, ce qui permet d'accorder l'instrument en cours d'exécution.)
2. Procéder de la même manière que pour une guitare acoustique en suivant les instructions données ci-dessus.

## ■ SELECTION DE LA HAUTEUR

La hauteur standard de A4, qui est de 440 Hz, peut être élevée ou abaissée. Si une hauteur standard A4 = 444Hz est souhaitée, par exemple, accorder les cordes de sorte que l'aiguille du VU-mètre ⑥ s'arrête sur 444 au lieu de 440 Hz.



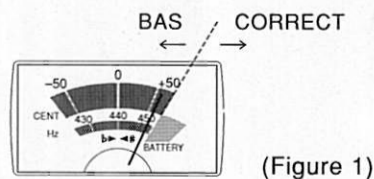
## ■ CONTROLE DE LA PILE

Mettre l'interrupteur d'alimentation ① sur la position "BAT". L'aiguille du VU-mètre ⑥ indique alors la charge restante de la pile. Si l'aiguille s'arrête à gauche de la barre de contrôle de la pile (voir la figure 1), la pile doit être immédiatement remplacée.

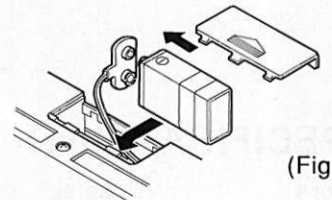
### ● Remplacement de la pile

Le logement de la pile est situé au dos de l'accordeur. Retirer la pile usée et la remplacer par une pile neuve du même type. Faire très attention de placer la pile en respectant les polarités.

\* Toujours mettre l'interrupteur POWER ① sur la position "OFF" avant de remplacer la pile.



(Figure 1)



(Figure 2)

\* Les spécifications et l'aspect externe peuvent être modifiés sans aucun avis.

LE PRESENT APPAREIL NUMERIQUE N'EMET PAS DE BRUITS RADIOELECTRIQUES DEPASSANT LES LIMITES APPLICABLES AUX APPAREILS NUMERIQUES DE LA "CLASSE B" PRESCRITES DANS LE REGLEMENT SUR LE BROUILLAGE RADIOELECTRIQUE EDICTE PAR LE MINISTRE DES COMMUNICATIONS DU CANADA.



# YAMAHA

## GITARREN/BASS-STIMMGERÄT

# YT-1100

### BEDIENUNGSANLEITUNG

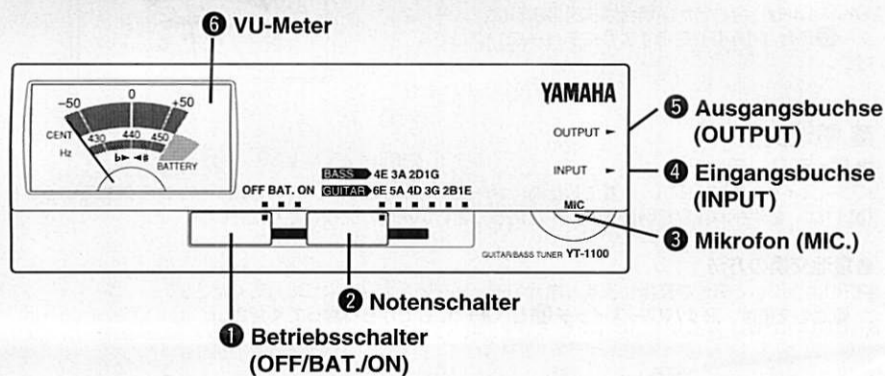
Vielen Dank für den Kauf des Gitarren/Baß-Stimmgeräts YT-1100 von Yamaha.

Bitte lesen Sie sich diese Anleitung vor Gebrauch durch und bewahren Sie sie dann zur späteren Bezugnahme an einem sicheren Ort auf.

## ■ VORSICHTSMASSNAHMEN

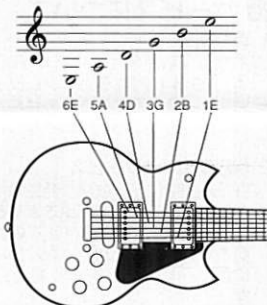
- ◆ Das Gerät vor den nachfolgenden Einflüssen schützen, um Schäden zu verhindern:
  - Direkte Sonneneinstrahlung
  - Extreme Temperaturen oder Feuchtigkeit
  - Übermäßiger Staub.
- ◆ Zum Betrieb des YT-1100 nur eine 9 V Batterie der Kennung 6F22 oder 006P.  
Andere Stromquellen können zu Schäden führen.
- ◆ Das Gerät nach Gebrauch stets ausschalten, um die Batterie zu schonen.
- ◆ Vor längerem Nichtgebrauch die Batterie entfernen, um Schäden durch womöglich lecke Batterien zu verhindern.
- ◆ Vor Stoß und Schlag schützen. Keinesfalls mit Gewalt handhaben.
- ◆ Zum Reinigen keinesfalls Benzin oder Verdünner verwenden. Mit einem trockenen, sauberen Tuch abwischen.

## ■ BAUTEILE



## ■ TECHNISCHE DATEN

|                      |  |
|----------------------|--|
| Anzeigen             | : VU-Meter                               |
| Stimmnoten           | : 6E(4E), 5A(3A), 4D(2D), 3G(1G), 2B, 1E |
| VU-Meterpräzision    | : ± 1 Cent                               |
| Standardtonhöhe      | : A4 = 440 Hz                            |
| Zusatzfunktion       | : Batterieprüfung                        |
| Buchsen              | : INPUT, OUTPUT                          |
| Stromversorgung      | : 9V Trockenzelle (006P oder 6F22)       |
| Batterie-Lebensdauer | : ca. 80 Stunden                         |
| Abmessungen (WxHxD)  | : 146 x 48,5 x 32,5 mm                   |
| Gewicht              | : 155 g mit Batterie                     |
| Zubehör              | : 9V Batterie (6F22) x 1                 |



\* Änderungen an Daten und Design vorbehalten.

### Bescheinigung des Importeurs

Hiermit wird bescheinigt, daß der / die / das

**GUITAR/BASS TUNER Typ : YT-1100**

(Gerät, Typ, Bezeichnung)

in Übereinstimmung mit den Bestimmungen der

**VERFÜGUNG 1046/84**

(Amtsblattverfügung)

funktionsfähig ist.

Der Deutschen Bundespost wurde das Inverkehrbringen dieses Gerätes angezeigt und die Berechtigung zur Überprüfung der Serie auf Einhaltung der Bestimmungen eingeräumt.

**YAMAHA Europa GmbH**

Name des Importeurs

## ■ STIMMVERFAHREN

### ● Stimmen einer akustischen Gitarre

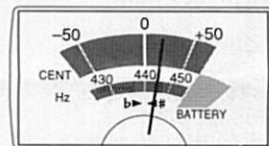
1. Den Betriebsschalter ① auf "ON" stellen.
2. Den Notenschalter ② auf die gewünschte Stimmnote stellen.
3. Das Schalloch der Gitarre direkt vor dem eingebauten Mikrophon ③ platzieren.
- \* Bei belegter INPUT-Buchse ④ ist das eingebaute Mikrophon ③ funktionslos.
4. Die zu stimmende Saite anzupfen. (Stets nur eine einzige Saite anzupfen.)
5. Am Stimmwirbel drehen, bis der Zeiger ⑥ des VU-Meters fest auf 440 Hz (0 Cent) in Skalenmitte weist. Bei zu niedrigem Ton ist der Zeiger nach links und bei zu hohem Ton nach rechts geneigt.
6. Zum Stimmen der übrigen Saiten die Schritte 4 und 5 wiederholen.

### ● Stimmen einer E- bzw. Baßgitarre

1. Das Gitarrenkabel mit der INPUT-Buchse ④ verbinden. (Hierbei kann an die OUTPUT-Buchse ⑤ ein Verstärker zum Stimmen während der Darbietung angeschlossen sein.)
2. Das Stimmen des Instruments erfolgt in der gleichen Weise wie bei der akustischen Gitarre.

## ■ WAHL DER STANDARDTONHÖHE (KAMMERTON A)

Die Standardtonhöhe A4 (440 Hz) läßt sich auf eine andere Frequenz einstellen. Falls beispielsweise eine Standardtonhöhe A4 = 444 Hz gewünscht wird, müssen die Saiten so gestimmt werden, daß der Zeiger ⑥ auf 444 Hz statt auf 440 Hz weist.



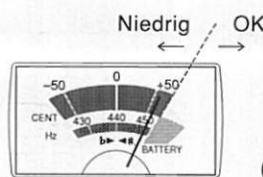
## ■ BATTERIEPRÜFUNG

Den Betriebsschalter ① in Stellung "BAT." schieben, worauf der Zeiger ⑥ den Ladezustand der Batterie anzeigt. Weist der Zeiger auf das linke Ende des Batterieprüfbalkens (siehe Abb. 1), so ist die Batterie sofort auszutauschen.

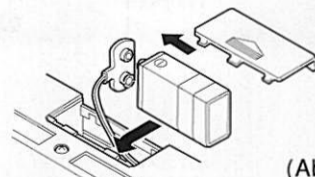
### ● Batteriewechsel

Das Batteriefach befindet sich auf der Rückseite. Die alte Batterie durch eine neue des gleichen Typs austauschen. Beim Anschließen der Batterie auf korrekte Polung achten.

\* Vor dem Wechseln der Batterie den Betriebsschalter ① unbedingt auf OFF stellen.



(Abb. 1)



(Abb. 2)

## 無償修理規定

1. 正常な使用状態 (取扱説明書、本体貼り付けラベルなどの注意書に従った使用状態) で故障した場合には、お買上げの販売店が無料修理を致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合は、お買上げの販売店に商品と本書をご持参のうえご依頼ください。
3. ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げ販売店にご依頼できない場合等は、最寄りのヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点にお問い合わせください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
  - (1) 本書のご提示がない場合。
  - (2) 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
  - (3) 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
  - (4) お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
  - (5) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
  - (6) 消耗部品の交換。
  - (7) お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。
5. この保証書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
6. この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

※この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、ヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点にお問い合わせください。